

テーマ 「成長」

子どもの成長は人それぞれ



ぷきゅつ

かさい まり//文
アリス館
(あかちゃん絵本/057)

りんりんは恐竜のあかちゃん。なかなか言葉を話せず、まだ「ぷきゅつ」としか言えません。でも、お父さんとお母さんに優しく見守られながら、今日ものびのび楽しく過ごしています。さて、りんりんが初めて話す言葉は……？待ちに待った初語への喜びに溢れた絵本です。子どもの成長は人それぞれだと教えてくれます。

大きくなったらどんな姿？



いちかわ けいこ//文
たかはし かずえ//絵
アリス館
(あかちゃん絵本/057)

あおむし、ひよこ、おたまじゃくし。みんな大きくなったら子どもの時とは違った姿に大変身します。主人公の子犬は、立派に成長する生き物たちにびっくり。それなら、猫もいつか虎やライオンになると子犬は考えますが……。虫や動物たちが大きくなったらどんな姿になるのか、お子さんに問い合わせながら読んでみてください。

「いかなくちゃ。こわくても。」



どうぶつかぞく アフリカゾウ
如月 かずさ//作
田中 六大//絵
今泉 忠明//監修
講談社
(やさしいよみもの/069)

怖がりで甘えん坊な子ゾウのトトは、水場を探して、サバンナを群れで旅しています。その途中でお母さんが熱を出し、立ち上がりがれなくなってしまいました。トトは「いのちの石」を取ってきてあげようと、勇気を出してひとりで洞窟に向かいます。トトは大好きなお母さんを救うことができるでしょうか。

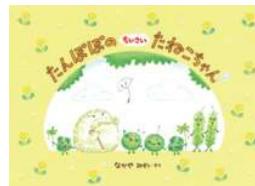
ぼくもおいしくつくれるかな？



堀 直子//作
木村 いこ//絵
文研出版
(やさしいよみもの/069)

魔女みたいにガミガミ言うぼくのおばあちゃん「majyoubā」は、お父さんと二人暮らしのぼくを見かねて、引き取ると言い出します。絶対に行きたくないぼくは、ちゃんと一人でも自分のことをできるように学校でも家でも努力したけれど、majyoubāとたまごやきで対決することになり……。勝負の行方と、成長したぼくの決断を見届けてください。

君はすごい子！



なかや みわ//さく
学研教育みらい
(国内絵本/062)

小さい綿毛の「たねこちゃん」。きょうだいが次々に飛び立つ中、自信がないたねこちゃんは失敗を恐れて飛ぼうとしません。ところがある日、たねこちゃんはすすめに連れ去られてしまいます。たねこちゃんは、新しい場所で無事に花を咲かせることができると、新たな環境へ挑戦するお子さんと一緒に読んでほしい本です。

どんな時でも見守っているよ



アリソン・マギー//文
ユ・テウン//絵
なかがわ ちひろ//訳
主婦の友社
(海外絵本/063)

「きょうもあしたもあなたはたくさんのドアを開けていく」。ドアを開けた先には様々な出来事が待ち受けています。素敵なことだけでなく、嵐に巻き込まれたり、答えが見つからなくて悩んだりするかもしれないけれど……。日々成長し、自分の力で人生のドアを開けていく子どもたちに向けて、優しくエールをお話です。

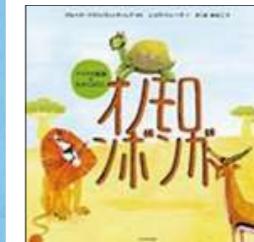
成長したかぐやひめはやがて……



いもと ようこ//文・絵
金の星社
(国内のむかしばなし絵本/060)

ある日、おじいさんが竹を取りに行くと、光る竹の中から小さな女の子を見つけました。おじいさんは女の子を「かぐやひめ」と名付け、大切に大切に育てました。美しく育ったかぐやひめは、5人の若者から結婚を申し込みますが……。子どもの頃から触れておきたい、日本最古の文学作品です。

むずかしい名前言えるかな？



アフリカ南部のむかしばなし
アルベナ・イヴァノヴィッチ=レア//再話
ニコラ・トレーヴ//絵
さくま ゆみこ//訳
光村教育図書
(海外のむかしばなし絵本/061)

水も飲めないほど乾ききった大地で暮らす動物たち。ある日カメは、夢で見た果実がたくさんなるという魔法の木を探しに旅立ちます。しかし果実を手に入れるには、その木のヘンテコな名前を覚え、木に呼びかけなければなりません。道中出会う動物たちに無理だと言われながらも目的を達成するカメから、自分を信じて行動することの大切さを学べます。

からだの成長はとまらない！



細谷 亮太//文
長野 ヒデ子//絵
童心社
(知識絵本/008)

髪や爪が伸びるのは、成長している証拠！体の中も外も、毎日少しづつ新しくなっています。子どもにもわかりやすい言葉とイラストで描かれており、親子と一緒に体の成長について学べます。どんどん大きくなるお子さんの小さな頃が懐かしく思えたり、成長をより強く感じたりすることでしょう。

鬼になんて負けないぞ！



守屋 正恵//さく
いもと ようこ//え
あかね書房
(テーマ別絵本/018)

もうすぐ節分です。くりのきえんのみんなは豆まきの準備をしていますが、もぐらのむぐらくんは、「はさみがない！」「のりがない！」と大泣き。節分の日も枠が作れずに泣いていると、むぐらくんの涙から泣き虫鬼が現れて……。むぐらくんは泣き虫鬼を退治できるでしょうか。鬼に立ち向かうむぐらくんの姿から、成長を感じられる一冊です。



絵本は赤ちゃんや保護者の方が好きなときに開いて、親子のふれあいや絵本を通じてのコミュニケーションを楽しんでいただきたいです。

※多賀市のブックスタート事業には、東北電機製造株式会社様のご協力をいただいております。



『うさちゃんマーク』の本について

キッズライブラリーには、赤ちゃんや小さいお子様におすすめの絵本があります。絵本には2種類の「うさちゃんマーク」がついています。ぜひ、お子様と一緒ににお読みください。



あかちゃんと一緒にはじめて読む絵本



たくさんの子どもたちに愛され、読みつがれた33冊の絵本